

## 第 1 1 章 構想の実現を目指して

総合計画を着実に推進していくため、本市を取り巻く社会経済状況等を的確に把握し、時代に適応した市政を進めていく必要があります。

### 第 1 市民等との協働による計画の確実な推進

計画の実施に当たっては、市民の市政への主体的な参画のもと、将来像の実現に向け着実に事業を推進していきます。

また、社会経済情勢や価値観の変化に伴い市民ニーズが多様化・高度化する中で、地域の実情に合ったまちづくりを推進するため、一層の協働意識の醸成を図りながら、市民と協働のまちづくりを促進する必要があります。

このため、積極的な情報開示を行い、市民と行政が情報を共有するとともに互いの役割を明確にし、より良いパートナーとして知恵を出し合い、協力しながら魅力あるまちづくりを実践します。

また、高等教育機関を始めとし、各種教育機関、研究機関等との連携を充実し、お互いが協力しながら目標の達成を目指します。

### 第 2 成果を重視した計画の進行

計画の実効性を確保するため、それぞれの事業の成果を重視した計画の進行管理に努めます。「市民の生活向上にどのような成果があったのか。」「市民の満足度はどうか。」等、市民の目線に立った目標を定め、これらを検証しながら着実に計画を進めていきます。

### 第 3 健全な行財政運営に裏打ちされた計画の推進

厳しい財政環境において、計画を着実に推進するためには、簡素で効率的な行政運営と健全で持続可能な財政運営を行うことが不可欠です。

このため、国や県等と連携を深めるなど、効果的かつ効率的に各種施策を推進するとともに、安定した財源の確保、行政組織機構の簡素化や事務事業の見直し、公共施設の適正配置など、市民の理解と信頼のもと、一層の行財政改革に取り組み、健全な行財政運営を基本としながら、着実に計画を進めていきます。